

「公印省略」

4 農林試第 1973 号  
令和 4 年 7 月 28 日

各関係機関団体の長 }  
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長  
(福岡県病虫害防除所)

令和 4 年度病虫害発生予察技術情報第 7 号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第 7 号「海外飛来性害虫の飛来状況（第 3 報）」を発表しましたので送付します。

## 技術情報第 7 号

1 作物名 水稻

2 病虫害名 海外飛来性害虫（セジロウンカ、トビイロウンカ、コブノメイガ）

3 発生状況

(1) 飛来状況

1) 7月19日前後に線状降水帯が発生し、九州地方の上空に中国大陸及び南方からの強い風が確認されていること、また7月19日から26日のほ場調査で断続的にセジロウンカ・トビイロウンカの成虫が確認できたことから、7月19日頃に新たな飛来があったものと推定された。

2) セジロウンカ・トビイロウンカの主飛来日を6月25日、7月6日、7月19日と推定した（図1）。

（「JPP-NET」の飛来解析・県内の調査結果・近隣県の飛来状況を参考）

また、近隣県のコブノメイガ飛来状況、県内調査結果を基に、コブノメイガの飛来日を6月25日、7月6日、7月19日と推定した（図2）。

(2) 7月5半旬のほ場調査結果（セジロウンカ・トビイロウンカ）

1) セジロウンカ

10株当たりの払落し成幼虫数は平均1.0頭（平年18.3頭、前年1.0頭）、発生ほ場率は66.7%（平年66.3%、前年43.5%）で、払落し成幼虫数は平年より少なく前年並だったものの、発生ほ場率は平年並で前年より多かった。

2) トビイロウンカ

10株当たりの払落し成幼虫数は平均0.0頭（平年1.0頭、前年0頭）、発生ほ場率は11.1%（平年16.8%、前年0%）で、払落し成幼虫数は平年より少なく前年並だったものの、発生ほ場率は平年よりやや少なく前年より多かった。

#### 4 防除上注意すべき事項

- (1) 今後の発生状況については、病虫害防除所が発表する病虫害発生予察情報や随時更新される病虫害発生動向を活用する。
- (2) トビイロウンカは、田植時期や使用した育苗箱施薬剤の種類、地域およびほ場による発生差が大きい。また、育苗箱施薬剤が施用されたほ場でも、田植後1か月以上経過すると農薬の効果の低下に伴い増殖しやすくなるので、発生予想パターン図を参考に、ほ場における発生状況を必ず把握し、発生が多い場合は幼虫期に防除を行う。

＜要防除水準：トビイロウンカ幼虫の合計数＞

飛来後第1世代： 20頭／100株

飛来後第2世代： 100頭／100株

9月末 : 1,000頭／100株

- (3) 無人航空機による防除を気温が高い時間帯に実施すると、イネの株元に到達する前に気化し、防除効果が低下する場合がありますので、気温が上昇する前の早朝に実施する。
- (4) 防除に当たっては、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を順守する。
- (5) 病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

○福岡県病虫害防除所のホームページへのアクセス

URL: <https://www.jppn.ne.jp/fukuoka/> または右QRコード①

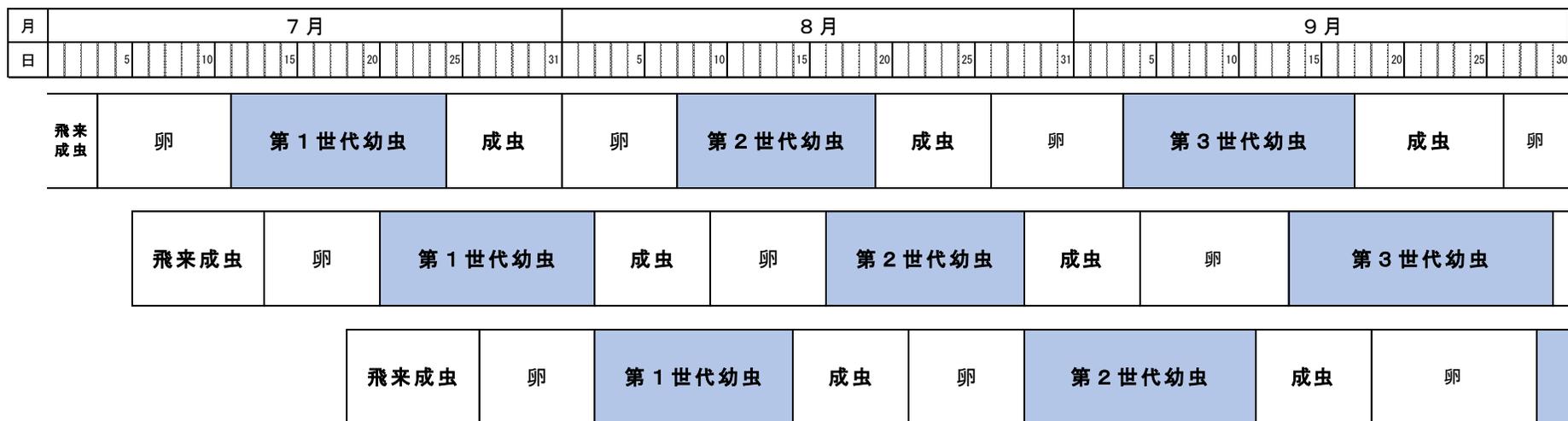


○Twitter（ツイッター）で定期情報や警報等発出のお知らせを始めました。

Twitterの本アカウント（福岡県農作物病虫害情報）へのアクセス

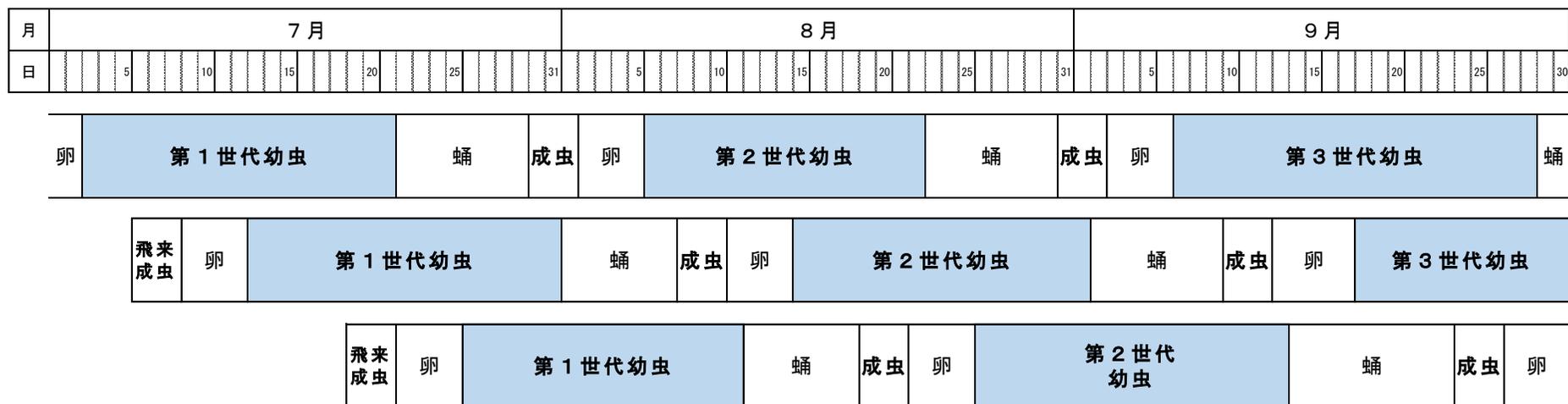
URL: [https://twitter.com/PPDPO\\_Fukuoka](https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka) または右QRコード②





- (注)
- (1) 发育零点12.0℃、发育上限温度28.5℃、发育停止温度33.0℃、有効積算温度（成虫期間100.0℃・卵 期間109.4℃・幼虫期間189.4℃）
  - (2) 気温はアメダス太宰府を使用（7月26日まで実測値、以降は平年値）

図1 飛来に基づくトビイロウンカの発生予想パターン図（第3報：令和4年7月27日作成）



- (注) (1) 防除適期は発蛾最盛期から1週間後である。
- (2) JPP-NETの有効積算温度計算シミュレーションを用いて算出した。  
 发育零点 (卵13.0°C、幼虫12.5°C、蛹14.2°C)、发育上限温度28.5°C、发育停止温度33.0°C、有効積算温度 (卵50.0°C、幼虫250.0°C、蛹90.0°C)
- (3) 気温はアメダス大宰府を使用した。(7月26日までは実測値、以降は平年値)

図2 飛来に基づくコブノメイガの発生予想パターン図 (第2報: 令和4年7月27日作成)